

第 1 回常任委員会議事要旨

日時	平成 2 8 年 7 月 2 1 日（木）午後 6 時から午後 8 時
場所	県民総合運動公園陸上競技場内 2 階会議室
出席者	丸山・佐藤・住吉・山田・上田・笠・齋藤（理事 7 名） 永田・太田黒（事務局 2 名）
会 議 内 容	
1	開会
2	丸山副会長あいさつ
3	議長選出 議長：佐藤理事長
4	報告 （1）ブロック別事業の実施について ・各ブロック連絡調整会議の実施及び会議内容の報告。 （2）九州ブロッククラブネットワークアクション 2016 実行委員会について ・ 7 月 8 日（金）に開催された実行委員会について内容報告。 ・長田会長の代理として、山本副会長が出席した旨説明。 ・九州ブロッククラブネットワークアクションの進め方について、今後は開催地が主体となって内容企画及び準備にあたることが決定した旨説明。また、常任幹事については、担当県を輪番で決めて回しているが、それについては今後引き続き協議されることとなっていることを補足説明。 （3）全国スポーツクラブ会議について ①第 1 1 回全国スポーツクラブ会議 in 熊本なんかん開催地実行委員会について ・ 6 月 1 8 日（土）に開催された会議内容について報告。 ②全国スポーツクラブ会議への SC 全国ネットワークの関わり方について ・ SC 全国ネットワークからの提供資料等を用いて説明。
5	議事 （1）平成 2 8 年度研修会の開催について ・北ブロック山田理事から、研修会の開催内容及び提案について説明。 —協議の結果— ・期日は、講師の都合で、1 0 月 8 日（土）午後 1 時～5 時に、菊陽町光の森町民センター「キャロップピア」にて開催する。 ・講師は、東日本大震災を経験した岩手県陸前高田市の「NP0 法人総合型りくぜんたかた」から 1 名と、「阪神淡路大震災」の実体験から生まれた災害対応シミュレーションゲーム【クロスロード】を県内各地で普及している長洲町の徳永伸介氏をお招きし、ワークをしていただく。 ・参加費について、今年度は SCS 加入クラブ及び設立準備団体の方は無料、SCS 非加入クラブは、1 人 5 0 0 円徴収する。参加対象者は、原則クラブ関係者。

(2) 平成28年度クラブ交流事業の開催について

- ・第1回理事会で協議し、評議員会で提案した内容の確認。
- ・今年度のクラブ交流事業の内容について「復興事業」の企画。

―協議の結果―

- ・会場は第一希望を菊池市「四季の里旭志」とする。
- ・会場のキャパシティや各ブロックでのご意見をもとに、参加対象者は原則クラブスタッフ及び関係者。
- ・実施内容は、エコノミークラス症候群の予防体操やペットボトルで作ることができるピザ作り、ノルディックウォーキングやレクレーション、出し物大会などを企画。理事会に提案し、開催の準備は理事にて行う。

(3) 総合型地域スポーツクラブ登録制度と同制度の「基本的な考え方」に係る意見聴取について

- ・7月4日付けで日体協及びSC全国ネットワークから案として出された「クラブの登録制度」について事務局から内容説明。
- ・九州ブロッククラブネットワークアクション2016実行委員会の際、他県の意見を伺ったが、どこも困惑している状況だったことを報告。また、県体協及びSCSあてそれぞれに意見聴取があっていることを報告。

―協議の結果―

- ・登録制度がどうかということより、組織の問題である。本協議会は県体協と連携しながら、数年前から年会費も集め、事業の企画・実施もしており、クラブが主体的に運営する仕組みができつつある。そんな中で、日体協の内部組織となることは逆行することに繋がる恐れがある。
- ・登録制度を用いることでクラブの諸課題が解決できるとは思えないため、具体的なことが見えない中で賛同できない。
- ・理事会にて更に協議し、回答していくことを確認。

6 その他

(1) 熊本地震に係る支援について

- ・7月15日現在で、本協議会への支援金が74万4,892円であることを報告。
- ・今後、本協議会としても復興事業として何らかの事業等を企画すべきであることを説明し、今後企画し次年度以降も行っていくことを説明。

(2) 他都道府県連絡協議会の活動について

- ・今後、本協議会としても、様々な企画をしていく必要があるため、運営体制も含め、提案等があれば積極的に行い、ブロック連絡調整会議から常任委員会・理事会に対して提案いただき、協議していきたい旨説明。
- ・大阪府総合型地域スポーツクラブ連絡協議会（大阪SCねっと）、香川県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の取り組みを紹介。

7 閉会